

第6回猪苗代町議会定例会 町長説明要旨

開会：令和2年9月1日（火）

本日、令和2年第6回猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、何かとご多用の中ご出席いただき、ご審議をお願いできますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

今議会が開催されるに当たり、令和元年度各会計に係る歳入歳出決算の認定案件、令和2年度一般会計並びに特別・事業会計の補正予算、条例の一部改正等、そして、教育委員の任命に係る人事案件など、重要な議案等を提出いたしておりますので、慎重なるご審議をお願いするとともに、議員各位のご理解とご協力を併せてお願い申し上げます。

提出議案の説明に先立ちまして、当面する町政の諸課題につきまして、所信の一端を申し上げたいと存じます。

（新型コロナウイルス感染症対策について）

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

これまで、町民の皆さんへ「新しい生活様式」への継続した取り組みなどを、機会あるごとをお願いしてまいりましたが、長期間にわたりご理解とご協力をい

ただいておりますことに対しまして、心から深く感謝申し上げます。

これまでのところ、本町からの感染者は確認されておりませんが、福島県内においては、8月に入ってから数週間で新規感染者が断続的に確認されており、そのような中で、会津若松市から会津地方初の感染者が確認されてしまいました。以前にも増して、感染者が大幅に増加している地域からの帰省や来訪者からの感染も懸念されているところでもあります。

本町におきましては、これまでの取り組みに加え、全国的に問題となっている感染者等への偏見や差別に対して、冷静な行動を心がけていただくよう周知に努めているほか、初めて経験する、マスクを着用した中で迎える高温・多湿の季節における熱中症予防対策の啓発、感染症を広げないための家庭ごみの処理方法、さらには厚生労働省がリリースした「接触確認アプリ」の利用なども呼び掛けてきており、きめ細かい情報の発信に努めているところでもあります。

今後も「新しい生活様式」を定着させながら、継続的な予防対策に取り組む必要があるとともに、ウイルスとの共存・共生も避けられない中で、地域経済の再生にも努めていかなければならないことから、PCR検査体制を含めた「発熱外来」の設置などについて、町の医師団及び会津保健所と継続的に協議・検討を行っているところでもあります。

町民の皆さんの健康と生活を守るため、国・県の動向を注視しながら、関係機関ともさらに連携を深め、感染拡大防止対策に努めてまいります。

（水稲の生育状況等について）

次に、農業情勢について申し上げます。

本町農業の基幹作物であります水稲の生育状況がありますが、民間の米穀データバンクが発表した7月31日現在の作柄予想によりますと、全国の作況は98の「やや不良」、福島県も同じく「やや不良」となっております。

本町でも、7月中の降雨や日照不足となったことから生育の遅れが見られておりましたが、8月上旬の梅雨空け以降、天候にも恵まれ、ほぼ平年並みの作柄に回復しているものと捉えております。

今後は台風や病害虫による被害が無く、良質米の生産と豊作を期待しているところであります。

さて、平成30年産米からは、新たな米政策として、国による生産数量目標の配分が廃止され、産地自らの経営判断により需要に応じた作付けを行うこととなりました。

本町では、会津よつば農業協同組合猪苗代稲作部会をはじめ、多くの農業者により「いなわしろ天のつぶ」を輸出する予定でありましたが、このコロナ禍の影響により大規模な輸出の取り組みは断念せざるを得な

くなり、代わりの取り組みとして「備蓄用米」並びに「飼料用米」の取り組みを強化・推進し、農業者の所得安定の確保を行ったところであります。

今後も、農業所得の安定と、さらなる向上を目指し、J Aや生産者団体と連携を図りながら、今年のようなコロナ禍でも柔軟に取り組んできたように、その年その年の条件を加味して 機動性のある本町農業の振興に取り組んでまいります。

また、例年、農業者や会津よつば農業協同組合と会津管内 17 市町村との合同トップセールスにて、首都圏での市場関係者や消費者へ 本町産農産物の P R を行って参りましたが、コロナ禍の影響により今年は直接対面による P R 活動を断念せざるを得なくなりました。

しかし、福島県の農産物については、一部の消費者に未だ原発事故による風評被害の影響が根強く残っておりますので、コロナ禍で厳しい P R 活動とはなっておりますが、オンライン商談会や「新しい生活様式」での P R 活動など、今後も機会を逃さず風評払拭と町内農産物の販路拡大を図ってまいります。

（鳥獣害対策について）

次に、鳥獣害対策について申し上げます。

はじめに、ツキノワグマについてであります、今年度は会津管内でも 5 月に人身被害が発生してお

り、春先から警戒を強めてきたところであります。

本町においても春先から目撃はありますが、昨年度に比べると出沒は少ない傾向にあります。幸いにも人身事故は発生しておりませんが、悪質な出沒については有害鳥獣捕獲にて対応しており、8月26日時点での捕獲数は11頭で、昨年同期の25頭と比較しますと半分以下となっております。

また、8月26日時点でのニホンザルの捕獲数は18頭、イノシシは51頭となっております。

鳥獣害から農作物や人家等の被害を防止するには、効果的な追い払いや捕獲、また、電気柵の設置も有効でありますので、引き続き、メールマガジンによる確な情報提供や電気柵等設置補助事業を推進するとともに、住民の方々や有害鳥獣駆除員の方々のご協力をいただきながら対策を講じてまいります。

（第24回猪苗代新そば祭りについて）

次に、猪苗代新そば祭りについて申し上げます。

今年で、24回目を迎える「猪苗代新そば祭り」ですが、趣旨を継続しながらも、新型コロナウイルス感染拡大防止対策も講じなければならないことから、新そば祭りの形態を変えての実施となります。

具体的には、「新しい生活様式」を取り入れ、3密を避けるために、カメリーナでのイベント

開催を控え、町内のそば店に ご協力をいただきながら新そばを提供していくものであり、広く町外からのお客様もお迎えし、継続して、「そばの里猪苗代」を P R してまいります。

（観光振興対策について）

次に、観光振興対策について申し上げます。

本年 1 月から 6 月までの「道の駅猪苗代」を含む本町の主な観光施設の延べ入込客数は約 7 1 万人で、前年同期の約 1 3 1 万人と比較すると 約 6 0 万人、率にして約 5 4 . 2 % の大幅な減少となっております。

主な要因としては、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない状況下で、誘客の自粛が長期化していることから、教育旅行の延期・中止や外国人旅行者の入国制限を受けていることにより、全国のかつ県内はもとより 町内への入込客数が極端に減少したことによるものであります。

今年は、梅雨明けが遅く、猪苗代湖などの 7 月中の入込客数は少なかったものの、梅雨明け後は天候にも恵まれ、多くの観光客にお出でいただいたものと推測しており、また、これからの紅葉シーズン、その後もスキーシーズンを迎えますので、新型コロナウイルス感染防止に配慮した、秋からのイベント開催や観光情報発信の充実を図りながら、観光誘客に努めてまいりる所存であります。

（風評被害対策について）

次に、風評被害対策について申し上げます。

復興支援イベントとして位置付けております「いなわしろ花火大会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を判断し、中止となりました。

新型コロナウイルス感染拡大による影響の長期化が予想される状況ではありますが、震災後 特に低迷している教育旅行の回復を図るため、バス代を助成する教育旅行支援事業を実施しているところであり、春先から問い合わせが多く寄せられております。

しかしながら、まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況であることから、キャンセルも想定されます。3密回避のために旅行バスの追加分を補助するなど、今議会において補正予算をお願いし、引き続き教育旅行の回復と風評被害の払拭に努めてまいります。

（緊急経済対策について）

次に、緊急経済対策について申し上げます。

長期化が予想される新型コロナウイルス感染拡大の影響については、特に観光客の大幅な減少により景気低迷が続いており、地元商工業事業者の収入が劇的に落ち込んでいる状況にあります。

そこで、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生

臨時交付金」を活用した経済対策事業として、特に落ち込みの激しいホテル、旅館、民宿といった宿泊事業者の支援策として、町民並びに町内事業所に勤務される方の利用限度による宿泊利用助成金の交付や全町民を対象とした「猪苗代応援商品券」の配付、来町される観光客の皆さんが安心して宿泊することができる「新しい生活様式」ガイドラインに取り組む事業者への「がんばる事業所応援事業」を行ってまいります。

更には、積極的な地場産品の販路拡大事業や家賃支援給付金事業、そして新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたイベントに係る「観光誘客支援事業」などを行ってまいります。

（統合中学校整備事業について）

次に、統合中学校整備事業について申し上げます。

統合中学校の整備につきましては、子どもたちの安全・安心な学習環境の確保を第一に、避難所としての機能も備え、令和4年4月開校の予定で整備を進めております。

7月28日には議長をはじめ議員の皆様にご出席いただき、現地において安全祈願祭を挙行することができましたことに対しまして、改めまして御礼を申し上げます。

現在の工事の進捗状況でございますが、先月、現場

事務所の整備や仮囲いなどの仮設工事が終了し、基礎杭工事の準備に入っております。

今年度末には、1階床スラブのコンクリート打設を完了させ、1階躯体部の配筋工事を行う計画としており、年度末での進捗率は約25%を予定しております。

なお、工事の実施に際しましては、地域住民の皆様へ、ご迷惑をかけないよう最善の注意を払って行いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

（文化芸術の推進について）

次に、文化芸術の推進について申し上げます。

生涯学習と社会教育の推進につきましては、体験交流館「学びいな」や図書歴史情報館「和みいな」、総合体育館「カメリーナ」を生涯学習・社会教育の拠点として、多くの皆様にご利用いただいております。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各種イベントや講座などの中止や延期もありましたが、国の緊急事態宣言解除を受けて、各施設とも徐々に利用者が戻ってきております。

一方、19回を数えます「母から子への手紙」コンテストは、7月1日から募集を始め、コロナ禍による外出自粛の影響もあり、全国から順調に応募が届いております。10月5日で募集が締め切られ、今後、お母さん委員会の協力のもと1次選考を実施し、最終選考や表彰式など準備をしてまいります。

「和みいな」では、「新しい生活様式」を推進するため、在宅で過ごす時間を少しでも有意義に過ごしていただくため、図書館パワーアップ事業により 新着図書を増やし読書環境の充実を図っております。

今後ともこれら文化施設の適切な維持管理に努め、関係団体と協力し、本町の生涯学習と文化芸術を推進してまいります。

（福島県高等学校駅伝競走大会について）

次に、福島県高等学校駅伝競走大会について申し上げます。

今年も、総合体育館「カメリーナ」をスタート・ゴールに、男子が第 6 5 回、女子が第 3 8 回となります。福島県高等学校駅伝競走大会が、1 0 月 2 2 日に、新型コロナウイルスに関するガイドラインを設け開催されます。

高校駅伝事務局からは、駅伝コースの走り易さや自然環境、宿泊施設の充実、交通規制の観点などから、本町での継続開催についての要望があり、平成 2 6 年度から連続して 7 回目で、全国大会の県予選も兼ねていることから 4 0 を超える参加校があり、事前現地練習等も含め、多くの選手や監督、役員の皆様にお越しいただくことになります。

本町といたしましては、コースの設営や運営役員等の人的支援を行って、大会運営に万全を期するとともに

に、町民の皆様にもボランティアとしてご活躍いただき、「スポーツ振興宣言の町」猪苗代をアピールしてまいります。

また、第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、従来、白河市から福島県庁までの16区間で実施されておりましたが、規模を縮小し、郡山市から福島県庁までの9区間での開催を予定しております。大会事務局では、感染拡大防止のため開会式や閉会式などは開催せず、応援も含め、できるだけ「密」を避けた状況での大会実施を予定しております。

猪苗代町のために懸命に「タスキ」をつなぐ選手の皆さんを全面的にバックアップし、テレビやラジオでその雄姿を観て応援していただきたいと考えております。

(東京2020オリンピック・パラリンピックについて)

次に、新型コロナウイルス感染症の影響により、1年延期となりました東京2020オリンピック・パラリンピック ホストタウン事業並びに共生社会ホストタウン事業について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のため、本来であれば、今年3月に行われる予定でありました聖火リレーにつきましては、組織委員会では来年3月末頃にセレブレーションなど規模を縮小し開催する見通し

となっております。

また、本年3月の聖火リレーの際に町独自イベントで制作を予定しておりました、「花アート ホストタウン猪苗代」を、町内小・中学校、高校及び支援学校などの協力を得ながら、制作を進めてまいります。

この事業は、ガーナ共和国との友好を形にするため、猪苗代町出身の写真家 野口勝宏さんが撮影した「福島の花」のシールを、各児童・生徒1人1枚ずつデザイン台紙に貼っていただくものであり、みんなで完成させることに意義があるものであります。完成した花アートは、猪苗代駅や各種イベント、来年開催予定の聖火リレーの際に展示したいと考えております。

今後、コロナ禍の状況ではありますが、ガーナ共和国との更なる交流が図られるよう準備をし、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、猪苗代町を世界にアピールしてまいります。

（提出案件について）

- 次に、本定例会に提出いたします案件は、
- ・令和元年度の一般会計、特別会計、事業会計に係る歳入歳出決算の認定案件が3件、
 - ・令和2年度の一般会計、特別会計、事業会計に係る補正予算案件が12件、
 - ・条例の制定、一部改正、廃止案件が計8件、

- ・ 会津若松地方広域市町村圏整備組合規約の一部変更案件、
- ・ 会津若松地方土地開発公社の解散案件、
- ・ 猪苗代町教育委員会委員の任命に係る同意案件、
- ・ 人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問案件が４件の計３０件であります。

各議案の細部につきましては、それぞれ所管する担当課長に説明いたさせますので、慎重にご審議の上速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げます。